# モアショロ原野地区WS

## 23年度 現地在来種子吹付など

### 帯広建管 環境影響など協議

【帯広発】帯広建管は10日、帯広市のとかち館で2022年度第2回「モアショロ原野螺湾足寄停車場線モアショロ原野地区の環境影響に関するワークショップ」（座長・加賀屋誠一北大名誉教授）を開催した＝写真＝。22年度の環境調査結果や23年度の環境調査計画などについて協議。前回示した植生工法検討案のうち在来種の張芝案が遺伝子かく乱の恐れがあることから除外し、23年度は現地採取した在来種種子による吹き付けなど残る4案を試験することなどを申し合わせた。

モアショロ原野螺湾足寄停線は、活発な火山活動を続ける雌阿寒岳の麓に位置するオンネトー湖周辺の避難路として整備計画中の一般道道。当該地域が阿寒国立公園内に位置していることから、周辺環境に配慮した社会資本整備を行うため、懇談会を設置して学識経験者から意見を聴取している。

議事では、22年度の道路事業報告および23年度道路事業計画案を共有。23年度は民地の一部の用地買収および立木補償を行う予定であるとした。

続いて、㈱北開水工コンサルタント（帯広）が鳥類、ズコーシャ㈱（帯広）が植物の環境調査結果を報告。鳥類調査については、23年度に終日調査とスポットセンサス調査を行う計画を示した。

一方、前回示された植生工法検討案について、在来種の張芝による案を、地域外からの在来種の導入が地域特有の遺伝子をかく乱する恐れがあることから除外。23年度の植物調査は①現地採取した在来種種子による吹き付け②十勝管内で採取した在来種種子による吹き付け③外来種の張芝による吹き付け④外来種の張芝ーの4案について試験を進めていくとした。

このあと、意見交換を行い、周辺環境に配慮した道路整備に向けて活発な議論を展開した。

# ゼロカーボンの家づくりセミナー

## 北方型住宅の効果解説

### 帯広建管 補助制度等も

【帯広発】帯広建管は10日、帯広市のよつ葉アリーナ十勝で北方型住宅フェア・地域材を活用したとかち型エコ住宅セミナー「北方型住宅2020に学ぶゼロカーボンの家づくり」を開催した＝写真＝。管内の住宅設計・施工業者や市町村担当者ら約70人が参加。北方型住宅の効果やゼロカーボン化、補助制度などに関する講演を通じて理解を深めた。

セミナーは、住宅関連事業者が省エネルギーや脱炭素化に係る現状と課題などについて理解し、住宅建設に対するゼロカーボンへの取組の促進につなげることを目的に開催。管内の住宅設計・施工業者や市町村担当者ら約70人が参加した。

道建設部住宅局建築指導課の赤沼拓主任が「北方型住宅の普及推進」について講演。ZEB・ZEHの普及をはじめとする建築物の脱炭素化の推進といったゼロカーボン北海道の取組などを紹介した上で、断熱性向上や省エネ化推進を図った北方型住宅2020などについてあらためて説明した。

このあと、住宅金融支援機構北海道支店の肝付和摩総括調査役が「融資による支援」、道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所の本荘和敏企画調整部長が「ゼロカーボン化」、帯広市都市環境部都市建築室建築開発課の柴田賢一係長が「帯広市における民間住宅施策事業制度」と題して講演。

参加者はゼロカーボン実現に向けた取組について理解を深めた。

# 入札公告 一般競争

## ◎ 胆振総振林務

☆申請期間＝3月14日まで
☆開札日＝4月20日

【高丘地区小規模治山】
▼工事概要
▽工事場所＝厚真町
▽工事内容＝航空実播、筋工、流木除去
▽工期＝11月30日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。胆振管内に主たる営業所
▽元請実績＝07年度以降、森林土木の治山・林道または一般土木の法面（吹付・実播等）4000平方㍍以上＝500万円以上

【奥地林道ニワン線ほか4自力災復】
▼工事概要
▽工事場所＝むかわ町
▽工事内容＝6920㍍
▽工期＝24年1月30日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Aの単体、経常JV。単体は胆振・日高管内または夕張市、由仁町に主たる営業所。JV構成員は全て道内に主たる営業所で胆振・日高管内または夕張市、由仁町に主たる営業所のある業者を含む
▽元請実績＝07年度以降、森林土木の治山・林道または国道、道道、農道、市町村道等3460㍍以上＝3000万円以上

# 道会場 130人が難関突破

## 技術士第2次試験合格者

日本技術士会は10日、2022年度技術士第2次試験の最終合格者を発表した。

全国では総合技術監理を含む21部門合わせ、前年度より27人少ない2632人が難関を突破。対受験者合格率は11・7％（前年度比0・1ポイント増）と昨年より増加した。

このうち建設部門の合格者は前年度より116人少ない1268人で、合格率は9・7％（同0・7ポイント減）と減少した。

北海道会場分の合格者は技術部門103人、総合技術監理部門27人の計130人で、対受験者合格率は11・0％（同0・4ポイント増）。例年受験者が多い建設部門は71人が難関をクリアした。

同会は文部科学省の指定機関として、国に代わり技術士試験の実施、登録等の業務を行っている。2次試験合格者が「技術士」の名称を使用するには、日本技術士会に登録申請する必要がある。

北海道会場分の合格者はつぎのとおり（敬称略、受験番号順）。

### □ 技術部門（総合技術監理を除く）

【電気電子】
▼電力・エネルギーシステム
▽大橋　覚
▼情報通信
▽船田　晋
▼電気設備
▽佐藤　宇晃

【建設】
▼土質及び基礎
▽青木　俊浩▽酒向　明子
▽加藤　輝美▽阿部　裕
▼鋼構造及びコンクリート
▽清野　広司▽木原　尚彦
▽黒澤　彰信▽池下　雄哉
▽中村　拓郎▽中谷　俊晴
▽平田　靖喜
▼都市及び地方計画
▽小澤　俊博▽大槻　政洋
▽田中　絢人
▼河川、砂防及び海岸・海洋
▽新田　久輝▽矢野　加奈
▽三道　義己▽菅野　裕也
▽小林　潤▽大塚　健太
▽泉野　敏則▽伊藤　友来
▽田代　隆志▽吉田　智彦
▽村澤　直樹▽戸村　翔
▽井上　和哉▽本島　翼
▼港湾及び空港
▽笠野　将史▽萩原翔太郎
▽水口　陽介▽澤田　裕介
▽加藤　幸輝
▼道路
▽石田十羽完▽笹谷　晃
▽杉浦　聡志▽吉井　康訓
▽髙橋　傑▽佐々木敏樹
▽山本　純江▽斉藤　優太
▽越後　紘志▽大橋　一仁
▽竹口　祐二▽釣谷　竜一
▽荒木　佑太▽三浦　隆廣
▽水島　弘人▽逆井　直樹
▼鉄道
▽吉田　宏彰
▼トンネル
▽草信　元春▽安藤　勧
▽中村　和隆▽岩上　隆志
▽根来　将司
▼施工計画、施工設備及び積算
▽木本　邦彦▽福井　陽
▽阿彦　宏輝▽野原　健勝
▽吉田　慎吾▽菅原　諭
▽仁義　水緒▽中西　正樹
▽増森裕太郎▽小林　均
▽片山　芳樹
▼建設環境
▽村上　直史▽本田　康隆
▽笹森　健太▽常磐　尚子
▽保科　賢司
【上下水道】
▼上水道及び工業用水道
▽菅原　伸二▽村山　大昌
▽塚本　優祐
▼下水道
▽星野　樹哉▽渋谷　翔平
【衛生工学】
▼廃棄物・資源循環
▽朝倉　賢
▼建築物環境衛生管理
▽野川　貴史
【農業】
▼農業農村工学
▽菊池　裕貴▽大友　淳也
▽布　貴史▽齊藤　崇
▽塚田　佳樹▽中嶋　一郎
▼農村地域・資源計画
▽田代　健介▽高久　俊宏
▼植物保護
▽萩原　淳史
【森林】
▼林業・林産
▽齋藤　昌史▽川西　博史
▼森林土木
▽武森美紀男
【水産】
▼水産資源及び水域環境
▽境　磨
▼水産土木
▽坂下　拓▽小竹　元己
【情報工学】
▼コンピュータ工学
▽本間　稔規
【応用理学】
▼地質
▽伊藤　和伯▽小杉　浩朗
▽岩間　倫秀▽菅原　正則
【環境】
▼自然環境保全
▽倉田亜以土
【原子力・放射線】
▼原子炉システム・施設
▽黒沼　拓也
▼建設―河川、砂防及び海岸・海洋
▽竹下　直樹▽藤澤　寿志
▽古西　力
▼建設―港湾及び空港
▽川内　宏哉
▼建設―道路
▽山口　忠幸▽岡　宣克
▽原田　裕介▽林　正幸
▽加藤　輝美▽安達　幸弥
▽小倉　正三
▼建設―施工計画、施工設備及び積算
▽柳瀬　大輔
▼建設―建設環境
▽野村　直也▽佐々木香織
▼上下水道―上水道及び工業用水道
▽首藤　央樹
▼上下水道―下水道
▽小林　克行
▼衛生工学―水質管理
▽市川　浩樹
▼農業―農業農村工学
▽久保　雅俊▽長内　克真
▽和田　洋之
▼応用理学―地質
▽本間　宏樹
▼原子力・放射線―原子炉システム・施設
▽柴田　拓
▼機械―機構ダイナミクス・制御
▽片岡　健一
▼電気電子―電気応用
▽宮部　真一
▼建設―鋼構造及びコンクリート
▽佐藤　吉孝▽中村　雅樹
▽岩井　剛

### □ 総合技術監理

※合格者氏名は官報において公表された情報をもとに掲載しています。


技術士 合格 おめでとうございます。

技術士・日本技術士会に関する
ご相談は下記北海道本部にどうぞ

技術士会 北海道 で検索

公益社団法人
日本技術士会
北海道本部
TEL：011-801-1617
e-mail：hkd-eng@ipej-hokkaido.jp